

【「飽田の森」の観察会・下刈作業を実施】

8月3日、南阿蘇村久木野の分収造林契約地「飽田の森」において、飽田地区青少年健全育成連絡協議会・飽田の森を育てる会、熊本市立飽田中学校主催による第20回目となる観察会・下刈り作業の活動が、飽田中教職員・保護者、飽田地域住民など約35名で実施され、当署からも川畑充郎署長が参加しました。

同協議会等は、青少年の健全な育成、明るく住みよい飽田の地域づくりなどを図ることを目的として、平成12年に「飽田の森」を設定し森林づくりを通じた社会活動や環境教育活動に取り組んでおり、今年は20周年の節目の年になりました。

当日は炎天下の中、主催者挨拶に続いて川畑署長が「貴会の取組は全国的にも模範となる優良事例であり、引き続き次世代を担う子供達のために継続した活動を期待します」と来賓挨拶しました。その後、参加者は成長した飽田の森の観察会を行うとともに、生い茂った草や雑木の刈り払い作業に心地良い汗を流し、最後に除伐したサクラの枝を活用した自分だけの鉛筆づくりを楽しみました。

なお今回の活動には、大雨の影響で開催日が変更になったため飽田中学生は参加できませんでしたが、これまでに2,200名を超える卒業生が参加しており、本年度も整備した「飽田の森」において、恒例となる2年生による立志の記念植樹を来年3月頃に予定しています。



（参加者でハイチーズ）



（炎天下での刈払い作業）



（自分だけの鉛筆づくり）